

## 歴博くらしの植物苑だより



くらしの植物苑観察会 13:30 から くらしの植物苑東屋

第104回 11月24日『江戸の菊』平野恵（文京ふるさと歴史館）

第105回 12月15日『サザンカの世界』箱田直紀（元東京農工大学）

くらしの植物苑今週の見どころ・観察会報告・古典菊 <http://www.rekihaku.ac.jp>

### 伝統の古典菊開催

10月30日から伝統の古典菊展が開催されました。例年より色つきが遅く、満開にはなっていませんが、丁子菊・奥州菊が苑内を彩っています。くらしの植物苑で栽培している菊には、嵯峨菊、伊勢菊、肥後菊、江戸菊といわれる古典菊、それと丁子菊、奥州菊です。

#### 奥州菊（大摺み）

江戸時代の末期から、奥州八戸地方で栽培されてきたもので長く太い管走り弁を下に伸ばし、厚物の部分の弁の抱えが積乱雲のように盛り上がり、また大きな手でつかむようもくもくします。摺み咲きでは「富山の雲」、摺み咲き・華巖咲きの「華巖の滝」、などがあります。摺み咲きには花卉の盛り上がり方で、女咲き、男咲き、雲咲きと変化していきます。

女咲き：

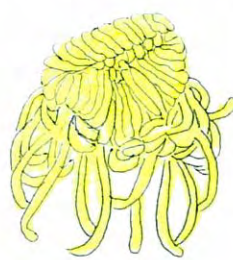
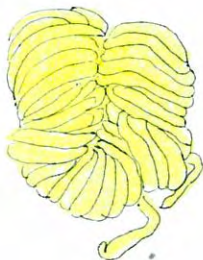
左右の摺み弁が盛りあがる。

男咲き：

前後の花弁が伸び、三角形になる。

雲咲き：

摺み弁が巻いたまま横向きにほぐれる。



菊作り名人奥技より

伝統の古典菊の季節になりました。丁子菊・奥州菊が咲き、江戸菊が咲き始めてきました。詳しくは『伝統の古典菊』をご覧ください。写真は丁子菊の“白竜丸”です。



#### サザンカ（ツバキ科ツバキ属）

12月4日から『冬の華・サザンカ』の展示が始まりますが、苑内では、サザンカ群、カンツバキ群の花が咲き出してきました。写真は苑内に地植えしてある、野生のサザンカです。



サザンカ“華子姫”（ツバキ科ツバキ属）  
サザンカ群の1つで、白地に紅のぼかしが入り、  
重ねの多い一重咲きの花です。



食用キク（キク科キク属）  
キクの花弁のところを、お浸しや、色どりに使  
います。苑内には黄色の阿保宮、淡赤紫のもつての  
ほかを栽培していますが、写真はもつてのほかで  
山形・秋田・新潟県などで栽培されています。香  
りと味を楽しみます。



ノコンギク（キク科シオン属）  
山野に多い多年草で、茎はよく枝分かれをします。  
ノコンギクの母種はチョウセンノギクといわれて  
います。



サフラン（アヤメ科サフラン属）

観賞用に栽培される球茎植物で、花被片は6枚、雄しべは3本でおおきな黄色の葯が  
めだち、めしべは3本に分かれ鮮やかな橙赤色でコントラストが美しい花です。めし  
べを集めて乾かしたものが薬やお菓子の染料・香料につかわれます。



イイギリ（イイギリ科イイギリ属）

日本に自生する落葉高木です、花は高くてみることはできませんでしたが、黄葉して  
きた葉の中に赤い果実がめだってきました。

